

令和4年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターしんばら

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和5年 2月 24日（金） 13:30 ~ 15:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

しあわせいろのたね まこう

豊かな生活体験やあそびを通して、健康な心と身体作りをします。子育てセンターしんばらという環境の中で、たくさんの可能性を秘めた種を蒔き、あそびや活動を通して、成長していくために大切な土台を、家庭と協力しながら作っていきます。

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

やってみよう

前年度テーマ「みいつけた」を通して、たくさんの発見をしてきました。今年度はさらに、みつけたものを触ってみよう、考えてみよう等、子ども達のやってみようという気持ちにつなげていけるよう、環境を整え、魅力あるあそびの提供を行います。教育保育の場でも、保護者の皆様にも、子どものやってみようという気持ちを受け止め、共感し、一緒に楽しんでいけるよう取り組みます。職員の具体的な取り組みとして、7つの活動に専門性を持って取り組めるよう、職員間で学び合い、計画・実践します。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	理念、方針、教育保育目標等、共通理解をし、計画をたて日々の教育保育を実践しています。 理念、方針、7つの活動等、それぞれの理解はできていますが、グランドデザインを常に見える所に掲示し、より意識が高まるようにしました。	4	グランドデザインを日々意識して取り組むこと、見える所に掲示したことも良い。目標としている7つの活動に対しても、よく取り組んでいて、参観した際、子ども達が生き生きと活動していた。満足度調査にも評価が表れている。グランドデザインとの相互関係が見える化するとより良い。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	教育保育要領を基に、全体的な計画、年間計画、週の計画、日案、7つの活動計等、1年の見通しをたてながら計画し、実践しています。学びの連続性を考慮しながら、子どもの実態に合わせて実践と振り返りを繰り返して行っています。しかし興味のある遊びが見つけれなかったり、持続が難しい子への対応など、遊びの提供に課題があります。	4	指導計画がしっかり根付いていないと、発達段階に応じた指導ができない。目標を達成する上でも大切である。見えにくい部分ではあるが、子どもの姿、成長から学びを感じることができた。課題を受け入れ、次にどう活かしていくかが大切である。
III. 子どもにとっては 1. そのらしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	個性を大切に、一人ひとりに寄り添った教育保育を心掛けています。恵まれた自然環境の中で、見守られながら安心して過ごし、人と関わりながら好きな遊びが楽しめるようにしています。職員間の共有も様々な方法で行っています。いろいろな人との関わりでは、状況によりその都度できる限りの関わりが持てるよう、工夫しています。	4	担任でなくても、多くの子に気を配ることができていた。皆で見る保育が実践されて子ども達が安心して過ごしていることを感じた。活動に入れない子に対して、くり返し声をかけるなど、よく理解して指導していた。認められて自分を発揮できている。職員が笑顔で関わり、子どもの様子を共有できていることが分かった。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<p>明るく笑顔で丁寧な挨拶を、全職員が心掛けています。一人ひとりの成長や姿を保護者の方と共有できるよう、職員間で声を掛け合い、方法を工夫して取り組んでいます。</p> <p>地域の行事への参加は難しいながらも、園発信で高齢の方の施設に伺い、保護者の方にも共有しました。また保育参加に代わる参観等を取り入れ、園での姿をご覧いただく場を作りました。お便り、ブログにも力を入れ、情報を発信しています。</p> <p>アンケートを実施し、保護者の方の声を教育保育に反映させています。</p>	4	<p>気持ちの良い挨拶でいつも迎えてくれる。園での様子や必要な事を伝えてもらっている。保護者を含めた行事等は、コロナ前に比べて遠くなったように感じることもあるが、状況が変わった時、それを活かして準備と課題に取り組んでいけると思う。電話対応もとても丁寧で、顔が見えない所での丁寧な対応は、園の印象を大きく左右するためとても良い。</p> <p>声をかけやすく、相談しやすい関係性が作られている。地域との関係性、情報発信も様々な方法で取り組んでいる。</p>
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<p>子育て支援センターを併設しており、いつでも気持ち良く笑顔で受け入れられるよう意識しています。</p> <p>子育てに関する様々な相談に対して丁寧に対応し、専門職につなげたり連携もしています。</p> <p>園に併設されていることが強みになるよう、園の様子を見たり一緒に遊びながら、見学も積極的に受け入れ、入園希望にも多くつながっています。</p>	4	<p>支援ひろばが併設されており、核家族化で孤立化する人が増える中、つながる場が常に開いていることは強み。地域の信頼も厚く、あるということが与える安心感は大きい。そこに行けば相談できる、誰でも利用できるのは良い。厚生会は法人も大きく施設環境も整っており、それを活用できている。地域で行っているパンダクラブともつながりを保っている。顔の見える関係性、様々なツールの利用もできているが、個人情報など心配なこともある。</p>
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<p>子どもを大切に、同じ目標に向かっていきます。それぞれ個性があり得意分野も違うため、個性を認め合い、学びあっています。</p> <p>気持ち良く対話ができる人間関係を築けるよう、話し合いの場も多く持ち、報連相を心掛けています。人数も多いため、共有できる工夫をしながら、誰もが一人ひとりの子どもに気を配れるようにしています。学びが深められるよう、内外の研修を行い、研鑽に努めています。</p>	4	<p>笑顔で子どもと接している姿から働きがいを感じる。新任の先生が頼りがいのある先生になっていく姿は、中堅やベテランが良いモデルになっている。職場環境の良い中で、スキルを磨き、自己実現ができる。</p> <p>マイナス思考になると子どもに影響するため、忙しい業務の中で心に余裕を持つことが大切。研修等で身につけた事を即実践に移すことは難しいが、模範となる先生が近くにいること、風通しの良いことで、相談しやすい関係性の中で活かせる。</p>